

刊 夕 新 城 新 報

行發日九十月九 (刊休日翌日祭曜日)

秋冷雜筆 (二) 島田忠夫

秋冷、野分めいた風と共に、ときに風雅な手紙が...

山下に暮すべく、世の歌も人ならぬ我らも聞かずに...

昭和三首歌章 小鹿角夫 (其一) 首すじの寒けき時...

汽車の別れ 高橋 巨 (童話詩) 汽車の別れ 遠い別れの...

艶女長兵衛 東京 斯波南史 (魚崎湖遊) 師匠が一生懸命、弟子が...

拈華微笑 候補人ハ勿論 年々たつたが、彦夫は恐れ入る...

吉田眼科病院 吉田眼科病院 吉田眼科病院



「立派な贈物、彦夫も驚いたが、彦夫は恐れ入る...

吉田眼科病院 吉田眼科病院 吉田眼科病院

開館致しまして 南町釜屋 呼電話二八六

蜂ブドウ酒 advertisement with bottle image and text: 胃腸を害し易い秋です...

藤沼醫院 advertisement: 花柳科、小児科、入院應需

開業 advertisement: 庖丁味たつぷり 美味百パーセント

東北ヒヨケの元祖 advertisement: 防水布製 ヒヨケ、テント

波野醫院 advertisement: 内科一般 難波野醫院

陽春毒梅毒 advertisement: 淋病 皮膚病 専門

敷島テント商店 advertisement: 敷島テント商店

# 本社主催 少年庭球大會

第十回郡下 明廿日午前九時 九曜コート（校横）

赤坂候補の選考事務長古川 藤田

## 進軍 刻々決勝に近づき 在所に緊張の氣漂ふ

戦線 涙ぐましい感動的的情景

## 井上候補の爲に 老後の面目を保持せ度い 何卒御同情を

中野浩忠氏の挨拶

各派候補者の戦線刻々進軍を前にして、夜を日につく言論戦に文書戦に戦場はますます激しくなるといふ。各派選挙事務局長以下運動員その他親近者等は、その必勝當選を神佛に祈願するなど、期日の切迫と共に、一入感動的の場を現出している。

## 赤坂候補 各方面へ激勵狀

事務長古川縣議から

赤坂候補の選挙事務長古川 藤田は、此際左記激勵狀を同 方部幹事八名に發した (前略) 御承知の如く郡下 菊多支部我黨選挙候補者 赤坂一君に御座候 君の勇氣、更に今日迄の 地方政界に於ける幾多の 歴史は、一度君をして 議員たるの所を獲せしめば 多難を極むる縣治の方面 に、幾多解決を要する。我 が地方問題に必ずや華々しき 成果を擧げ得るものと 確信致し居り候。決戦の日、我等の熱烈なる意氣と時局に對する審判とを示す日除す僅かに一

## 景風新町平

直情可愛矣

愉快な選挙意識

人が大人し大面してゐるのが、からだからく出てゐると俺、別な方へ張つて、嬉だと思つて、天玉様のお祭りの時の、何處迄もツケ事を根に持つて所屬政黨を上り遂々御決するのがあるんです。

## 祭り見物の指物職人 歸宅の途上刺し殺さる

女連れを皮肉つた唄の文句が 惹起した上小川地内の椿事

飯野八幡 倉庫認可

進行中の列車から 隧道内へ飛び降り

無闇に打つ飛ばし 通行人二人を傷く

一家塵殺た

愛の破綻か

一圓十銭のフランクス

秋の中折帽特賣

貸切は

電六四〇番

尼子タクシー

泉屋支店

御菓子の御用命

平マーケット

川内科診療所

西村屋薬店

赤坂 小川 好間 赤井 大橋 時宗 齊藤 大兵衛 前衛 酒井 貞良 須田 常雄 根本 正六 井上 次郎 後衛 船山 勝衛 高木 忠平 松本 徳四郎 大友 由雄 前衛 齊藤 昇 高木 武夫 根本 繁美 吉田 三午

赤坂候補は左記葉書を一 般有権者に出します。赤 坂候補は左記葉書を一 般有権者に出します。赤 坂候補は左記葉書を一 般有権者に出します。赤 坂候補は左記葉書を一 般有権者に出します。

## 廣汎な山地を利用して 有畜農業経営

役肉兼用牛三頭を購し 百年の大計に進む渡邊村

## 無闇に打つ飛ばし 通行人二人を傷く

昨内郷地内の自動車事故

## 一家塵殺た

平町町三三炭礦夫小畑山

## 愛の破綻か

其筋へ搜索願

## 一圓十銭のフランクス

マルソイ、ブランド、生葡萄酒

## 秋の中折帽特賣

生地は、色に、色に、色に

## 貸切は

親しみあるサービス

## 電六四〇番

尼子タクシー

## 泉屋支店

御菓子の御用命

平マーケット

川内科診療所

西村屋薬店

泉屋支店

御菓子の御用命